



# MIZUHO

みずほフィナンシャルグループ

2003

中間期

ディスクロージャー誌

みずほフィナンシャルグループ／みずほホールディングス  
みずほ銀行／みずほコーポレート銀行

## プロフィール

### みずほフィナンシャルグループ (平成15年1月8日設立)

所在地 〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-5-5  
TEL 03(5224)1111(代表)

資本金 1兆5,409億円  
発行済株式総数 13,389,341.91株  
普通株式 11,295,311.91株  
優先株式 2,094,030株

代表者 取締役社長 前田 晃伸  
従業員数 1,187人

\*みずほフィナンシャルグループの所在地は、平成16年2月2日より、「東京都千代田区丸の内1-6-1」から上記に移転します。  
\*従業員数にはシステム関連会社等への出向者878名を含みます。

### みずほホールディングス (平成12年9月29日設立)

所在地 〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-5-5

資本金 1兆円  
代表者 取締役社長 前田 晃伸  
(みずほフィナンシャルグループ社長が兼務)

従業員数 46人

\*みずほホールディングスの所在地は、平成16年2月2日より、「東京都千代田区丸の内1-6-1」から上記に移転します。  
\*従業員は、全員みずほフィナンシャルグループからの出向者です。

### みずほ銀行 (平成14年4月1日発足)

所在地 〒100-0011  
東京都千代田区内幸町1-1-5  
TEL 03(3596)1111(代表)

資本金 6,500億円  
代表者 取締役頭取 工藤 正  
従業員数 21,675人  
国内ネットワーク 641  
本店 535、出張所 102、代理店 4

- 本店には、振込専用支店11、「共同利用ATM」管理専門支店1、インターネット専用支店1、確定拠出年金支店1を含みます。
- みずほ銀行にはこのほか以下に以下の拠点があります。  
両替業務を主とした「本店成田空港出張所」、「本店成田空港第二出張所」、「本店成田空港サテライト出張所」、「大阪支店関西国際空港出張所」、「大阪支店関西国際空港第二出張所」
- また、店舗外現金自動設備が9,014カ所あります。このうち共同利用ATM(イーネット)が4,978カ所、共同利用ATM(ローソン)が2,974カ所あります。

### みずほコーポレート銀行 (平成14年4月1日発足)

所在地 〒100-8210  
東京都千代田区丸の内1-3-3  
TEL 03(3214)1111(代表)

資本金 1兆709億円  
代表者 取締役頭取 齋藤 宏  
従業員数 5,112人  
国内ネットワーク 本支店(営業部) 18、  
振込専用支店 15  
海外ネットワーク 39  
支店 24、出張所 2、  
駐在員事務所 13

\*みずほ銀行とみずほコーポレート銀行の経営健全化計画をベースに店舗共同化を含めた本支店数の推移については、22ページをご覧ください。

### みずほ証券 (平成12年10月1日発足)

所在地 〒100-0004  
東京都千代田区大手町1-5-1  
大手町ファーストスクエア  
TEL 03(5208)3210(代表)

資本金 1,502億円  
代表者 取締役社長 大澤 佳雄  
従業員数 1,103人  
国内ネットワーク 本社 1  
海外ネットワーク 現地法人 6

### みずほ信託銀行 (平成15年3月12日発足)

所在地 〒103-8670  
東京都中央区八重洲1-2-1  
TEL 03(3278)8111(代表)

資本金 2,472億円  
代表者 取締役社長 衛藤 博啓  
従業員数 3,726人  
国内ネットワーク 本支店 38  
海外ネットワーク 駐在員事務所 1、現地法人 2

(平成15年9月30日現在)

## 格付状況

	R&I		JCR		Moody's		Standard & Poor's		Fitch	
	長期	短期	長期	短期	長期	短期	長期	短期	長期	短期
みずほフィナンシャルグループ	-	a-1	-	-	-	-	-	-	-	-
みずほホールディングス	A-	a-1	-	-	-	-	-	-	-	-
みずほ銀行	A-	a-1	-	-	A3	P-1	BBB	A-2	BBB+	F2
みずほコーポレート銀行	A-	a-1	-	-	A3	P-1	BBB	A-2	BBB+	F2
みずほ証券	A-	a-1	-	J-1	-	-	-	-	-	-
みずほ信託銀行	A-	a-1	A-	-	Baa1	P-2	-	-	BBB+	F2

(平成15年12月31日現在)

# みずほフィナンシャルグループ 2003 中間期ディスクロージャー誌

---

## みずほフィナンシャルグループ社長からみなさまへのご報告 … 2

〈みずほ〉のビジネスモデルは、着実に成果をあげています。

## 〈みずほ〉の収益力と健全性 …… 4

みずほフィナンシャルグループは、健全な財務基盤のもと、収益力の強化にグループ一丸となって取り組んでいます。

## 〈みずほ〉の新たな金融サービスへの取り組み …… 6

みずほフィナンシャルグループは、グループシナジーを最大限に発揮し、お客さまのニーズにあった商品・サービス、ソリューションを迅速に提供しています。

### トピックス

- 個人のお客さまへの商品・サービスラインアップの拡充
- 一般事業法人、金融法人、公共団体のお客さま向けの取り組み
- 企業再生への取り組み
- 社会貢献への取り組み

### 事業実績ハイライト

## 〈みずほ〉のブランドロゴおよびブランドステートメントについて …… 16

## みずほフィナンシャルグループの現状について …… 17

- 総合金融サービス力の向上と収益基盤強化への取り組み
- 財務の健全性向上への取り組み

## 業績と財務の状況 …… 26

## CS向上への取り組みについて …… 84



前田 晃伸  
MAEDA TERUNOBU  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
取締役社長

## 〈みずほ〉のビジネスモデルは、 着実に成果をあげています。

みなさまには、平素より私どもみずほフィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当グループは、平成14年度、グループ総合金融サービス力の向上と安定的な収益力確保のためにグループ経営体制を再編、「ビジネスモデル」の進化を実現するとともに、将来の財務上のリスク要因を極力排除すべく最大限の手当てを行いました。

これら昨年度の対応をふまえ、平成15年度を「結果を出す1年」と位置づけ、上期、当初業績予想を上回る2,553億円の連結中間純利益を達成しております。

### ●総合金融サービス力の向上と収益基盤強化への取り組み

当グループは、昨年3月に、『事業再構築』によりグループ経営体制の再編を実施しました。具体的には、当社が銀行・証券会社のみならず、クレジットカード会社や資産運用等の戦略会社も直接経営管理を行う体制にするとともに、銀行間、銀行と証券会社間の連携強化や信託・資産運用分野の一体運営を行う体制を実現しました。この新体制のもと、グループ各社間の連携強化を通じ高付加価値の金融サービスをよりの確・迅速かつ総合的にお客さまに提供しております。

金融機関を取り巻く環境が依然として厳しいなか、当グループは、収益基盤のさらなる強化に迅速かつ果敢に取り組んでおります。まず、当グループの事業戦略の特徴である顧客セグメント別の分社メリットを徹底追求し、お客さまのニーズと各社の業務内容に応じた高い専門性を一段と向上させ新たな収益機会の捕捉により、収益力の飛躍的拡大に努めております。

こうした収益拡大策と同時に、当グループでは、統合合理化を加速すべくリストラを強化し、人件費・物件費両面にわたるコスト削減を実施しております。具体的には、従業員数の削減および店舗統廃合の前倒しを実施し、毎期大幅かつ着実な経費の削減を行い、当社・みずほホールディングス・みずほ銀行およびみずほコーポレート銀行の合算で平成18年度の経費を、平成14年度に比べ1,900億円削減し、7,000億円程度とすることを目指しております。

### ●資産の健全性向上と企業再生への取り組み

一方、資産の健全性向上につきましては、平成14年度において将来の資産劣化リスクへの対応と最終処理を加速し、最大限の財務上の手当を行いました。今後も、平成16年度末までに不良債権を半減させるという経営の強い決意のもと、最終処理のスピードアップ等を図ってまいります。また、上期には、『企業再生プロジェクト』を発表し、みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行それぞれの再生・リストラニーズのあるお取引先の債権を、銀行本体から新たに設立した再生専門子会社4社に分離すること等により、「企業再生の早期実現」に加え、銀行本体が資金仲介機能をこれまで以上に発揮し、お取引先の資金ニーズに積極的に対応する「信用創造機能の一段の強化」に取り組む体制を整備しました。

### ●「結果を出す一年」に向けた着実な進捗

こうした取り組みの結果、上期の連結決算につきましては、不良債権の着実な削減とともに与信関係費用の大幅な減少を実現したことに加え、コストの大幅削減も実施した結果、期初にお示しした業績予想を上回る2,553億円の中間純利益を達成しました。通期決算におきましても、「経営の健全化のための計画」の達成を見込んでおります。普通株式の年間配当金につきましては、平成15年度は、1株につき3,000円の復配を予定しております。また、各種優先株式につきましても、それぞれ所定の配当を実施する予定としております。

私どもみずほフィナンシャルグループは、お客さまへのサービスの飛躍的向上と競争力・収益力の強化に総力をあげて邁進してまいりますので、みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年1月

株式会社みずほフィナンシャルグループ  
取締役社長

前田 晃伸